

# 活動記録年表

## 会の活動記録とクルマ社会の主な出来事 (1995.5～2020.7)

クルマ社会を問い直す会は、1995年に、交通事故という殺傷事件が日々繰り返され日常空間に危険があふれる現状をはじめ、排ガスによる大気汚染、地球環境への負荷、公共交通網の衰退、移動の権利の不平等、道路増設による自然破壊や町の分断、子どもの遊び場の減少等々、クルマ社会の問題を問い直し、真に豊かな交通社会のあり方を考えようという人々が全国から集まって、発足しました。

以来、毎年の総会、講演会やシンポジウム、本・冊子発行、関係機関への要望活動、他団体との交流、写真展など、さまざまな活動を続け、2020年で25年となり、年4回発行してきた会報は100号を越えました。

そこで、これまでの会の活動を、クルマ問題関連の社会の主な出来事も添えて、年表にまとめました(p5～27)。

また、クルマ社会の変化の様相の一端を、図表で示しました(p28～47)。参考にしていただければ幸いです。

世話人

「クルマ社会や交通関係の主な出来事」は、おおむね交通事故・交通法関連→道路関連→環境関連→クルマ技術関連→海外事情の順で記載してありますが、一部順不同のところもあります。ご容赦ください。記載に誤りがありましたらご指摘をお願いいたします。

※1年間死者とは、その年に交通事故が原因で死亡した人の数(厚生統計)。

年度	会主催・共催等イベント(総会、講演会、写真展等)	意見書・要望書、執筆等発信活動
1995 (H7) 代表・事務局 ／杉田聡	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'95.5.27.第1回総会(設立総会)(東京・品川)。約70人参加。新聞・雑誌等15社報道。</li> <li>▶'95.7.15.会報第1号発行。以降毎年4回発行。10月時点で会員160名。</li> <li>▶'95.7.22.東京府中市にてハンブ調査。</li> <li>▶'96.3.16.大阪シンポジウム「クルマ社会を問い直す」(脱クルマフォーラム・大阪交通遺児を励ます会共催、本会後援)杉田聡代表基調報告。90名弱参加。</li> </ul>	
1996 (H8) 代表・事務局 ／杉田聡	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'96.5.18.米沢シンポジウム「歩行者の権利を考える」(クルマと暮らしを考える会等主催、本会後援)会員講演。</li> <li>▶'96.6.1.第2回総会(東京・赤坂)。</li> <li>▶'96.6.1.シンポジウム「クルマってホントに便利なの?」(脱クルマフォーラムと共催)103人参加。</li> <li>▶'96.6.23.札幌シンポジウム「クルマ社会を考える」(本会後援)杉田聡代表基調講演。</li> <li>▶'96.10.21.関東会員の集い第1回。</li> <li>▶'96.11.16.関東会員の集い「クルマ社会談話室」。</li> <li>▶'96.12.8.関西交流連帯会(大阪)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'96.4.8.「春の交通安全週間にあたっての緊急アピール」を新聞社に送付。</li> <li>▶'96.6.19.低公害車導入についての業界要請行動(公害・地球環境問題懇談会と共同)。</li> <li>▶'96.8.31.東北本線を守る会「交通基本法制定」賛同署名。</li> <li>▶'96.9.6.「クルマの有害・警告表示を求める要望書」自動車メーカー、マスコミへ送付。</li> <li>▶'96.9.18.「秋の交通安全週間にあたってのアピール」を主催29団体等に送付。</li> <li>▶'96.10.25.「モータリゼーションによる子どもの権利侵害の是正を求める要望書」を日弁連子どもの権利委員会に提出。</li> <li>▶'97.3.15.高校生のバイク利用に関するアンケート「三不運動とクルマ社会」を都道府県教育委員会等へ送付。</li> <li>▶'97.3.21.「全国鉄道利用者会議」の訴えに賛同。</li> </ul>
1997 (H9) 代表・事務局 ／杉田聡	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'97.4.12.第3回総会。シンポジウム「高校生とバイク」(脱クルマフォーラムと共催)(東京・文京区)。</li> <li>▶'97.4.17.関西地区学習会「都市計画は車をどう考えてきたか」講師梶浦恒雄氏(大阪市立大学教授)。</li> <li>▶'97.4.19.クルマ社会談話室(埼玉)。以後ほぼ毎月開催。</li> <li>▶'97.5.米沢シンポジウム「歩行者の視点で道路の安全を考える」(クルマと暮らしを考える会主催、当会後援)講師高信直道世話人。</li> <li>▶'97.5.24.札幌・写真展「道はだれのもの?札幌」(市民ネットワーク北海道と共催)。</li> <li>▶'97.8.「東京Ours'97」にて道路写真展後援。</li> <li>▶'97.10.10.関東会員の集い・都電貸切ツアー。</li> <li>▶'98.2.1.関東会員の集い・講演「分離信号はこどもの命を救う」講師長谷智喜会員。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'97.4.8.「春の交通安全週間にあたっての訴え」を主催29団体等に送付。</li> <li>▶'97.4.8.高校生のバイク利用に関するアンケート「三不運動とクルマ社会」の結果を総務庁等の記者クラブに送付。</li> <li>▶'97.9.30.交通事故防止対策等の要望書等を全国都道府県と主要各市の道路担当課へ送付。</li> <li>▶'97.10.5.「速度規制緩和に反対する訴え」を警察庁、愛知県警に送付。</li> <li>▶'97.10.23.運輸省・建設省と要望交渉(第43回日本母親大会省庁交渉行動)。</li> <li>▶'98.2.民主党、社会民主党、日本共産党訪問、要望書提出。</li> <li>▶'98.3.25.北海道庁・北海道議会各会派へ「夜光反射材義務化条例」反対の訴えを提出。</li> </ul>

対外交流、連携活動	クルマ社会や交通関係の主な出来事
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'95.8~9月.エコ・リーグ、日本子どもを守る会、アースデイ日本、自由法曹団等7団体訪問。</li> <li>▶'95.11.19.「子どもを守る文化会議」(岡山)出席。</li> <li>▶'96.3.『脱クルマ21』(脱クルマ・フォーラム編・生活思想社刊)創刊号発行。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'95年1年間死者*15,147人、負傷者922,677人。</li> <li>▶('95.1.17.阪神・淡路大震災発生。死者6,434人、負傷者44,000人弱の大惨事に。阪神高速道路倒壊など道路も甚大な被害を受ける。)</li> <li>▶'95.8.10.神奈川県の高速度で過積載トラックが観光バスに衝突、小学生ら3人死亡。</li> <li>▶'96.2.10.北海道余市町豊浜トンネル内で岩盤崩落、路線バスと乗用車乗員20人死亡。救出に2週間。</li> <li>▶'95.東京・武蔵野市ムーブス運行。コミュニティバスブームを呼ぶ。</li> <li>▶'95.3.大阪・西淀川大気汚染公害訴訟(78年、国・道路公団、企業等に提訴)、原告に有利な条件で企業と和解。国と公団の賠償責任を認める。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'96.5.27.「大気汚染裁判東京連絡会」入会。</li> <li>▶'96.5~12月.環境ジャーナリストの会、日本婦人団体連絡会、自由人権協会、新日本婦人の会訪問。</li> <li>▶'96.6.19.自動車走行に関する環境配慮と低公害車導入についての業界要請行動参加(公害・地球懇等と共同)。</li> <li>▶'96.6.23.「子どもの権利条約 市民・NGO報告書をつくる会」第2回総会参加。</li> <li>▶'96.11.9~10「第42回子どもを守る文化会議」参加。分科会「子どもと地域」でレポート。</li> <li>▶'97.2.6.「NO<sub>2</sub>・酸性雨全国一斉測定運動」実行委員会参加。</li> <li>▶'97.2.10.札幌道路写真展準備会参加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'96年度~「第6次交通安全基本計画」(96~2000年度):年間死者(24h以内)目標97年まで10,000人以下、その後は9,000人以下。(結果:98年以降達成)</li> <li>▶'96年1年間死者*14,343人。負傷者942,204人。</li> <li>▶'96.~国による「コミュニティゾーン」形成事業開始。</li> <li>▶'96.5.東京大気汚染公害訴訟(環七沿い喘息患者が国、都、日本道路公団、自動車メーカーを提訴)第1次提訴。和解まで11年。</li> <li>▶'96.4.クルマ技術関連:VICS(道路交通情報通信システム)運用開始。</li> <li>▶'96.7.クルマ技術関連:「高度道路交通システム推進に関する全体構想」(ITS全体構想)を関係5省庁で策定。</li> <li>▶'96.9.クルマ技術関連:建設省が磁気ネイルによる走行誘導実験を完成前の上信越高速道路で実施。</li> <li>▶'96.フランス/「交通基本法」(82年制定)改定。大気汚染抑制のため車交通量削減を目的に人口10万人以上都市で交通計画義務付け。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'97.4.1.「日本子どもを守る会」入会。</li> <li>▶'97.4.20.アースデイフェスティバル'97参加(東京代々木)。</li> <li>▶'97.7.13.鳥取県の婦人学級でクルマ問題講演、三田直水世話人。</li> <li>▶'97.7.26.「第43回日本母親大会」分科会担当。助言者三田直水世話人(岡山)。</li> <li>▶'97.9.1.「全国高齢者大会」(札幌)参加。</li> <li>▶'97.10.12.「首都圏道路問題交流連帯集会」(東京)参加。</li> <li>▶'97.11.23.「第43回子どもを守る文化会議」分科会担当。</li> <li>▶'97.11.24.ストップ地球温暖化大パレード(東京・代々木公園)参加。</li> <li>▶'97.11.「第23回道路公害反対運動全国交流連帯集会」分科会「車社会転換とまちづくり」参加。</li> <li>▶'97.12. NO<sub>2</sub>全国一斉測定調査参加。</li> <li>▶'98.1.30.「COP3報告集会」(主催「青空の会」)「公害地球懇」協力参加。</li> <li>▶'98.2.21.「子どもの権利条約 市民・NGO報告書をつくる会」シンポジウム参加。</li> <li>▶'98.3.7.シンポジウム「京都のまちづくりと交通を考える」参加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'97年1年間死者*13,981人。負傷者958,925人。</li> <li>▶'97.岡山自動車道、磐越自動車道、北陸自動車道全線、山陽自動車道全線、東京湾アクアライン等開通。</li> <li>▶'97.3.地球温暖化防止京都会議(COP3)で京都議定書採択。先進国で温室効果ガスを2008~12年までに90年比5%削減目標。日本は6%削減義務。</li> <li>▶'97.4.アースデイで自転車パレード。地球環境保護における自転車の有用性アピール。</li> <li>▶'97.8.道路における自転車の「市民権」を主張して、京都で「クリティカルマス」活動が発生。</li> <li>▶'97.10.クルマ技術関連:トヨタがハイブリッド車(HV)「プリウス」発売と発表。</li> <li>▶'97.スウェーデンで「ビジョン・ゼロ」可決。死者・重傷者ゼロを長期目標に道路システム管理者と道路利用者の責任と対策を明記。ヨーロッパ各国に影響。</li> <li>▶'97.オランダ「持続可能で安全な交通システム」発表。2010年までに交通事故死者半減、生活道路の8割を「ゾーン30」にする目標。</li> <li>▶'97.フランス/ラ・ロッシュェルで9月9日を「車のない日」と定め、カーフリーデー初開催。世界中に拡大。</li> <li>▶'97.ドイツ/ミュンスター市、自転車専用道整備で「環境都市」に選ばれ、翌年「自転車首都賞」受賞。(オランダ、ドイツなどでは70年代からゾーン30、ボンエルフなどの歩行者保護、交通静穏化対策が進行。)</li> </ul>

年度	会主催・共催等イベント(総会、講演会、写真展等)	意見書・要望書、執筆等発信活動
1998 (H10) 代表／杉田聡 事務局／高梨明	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'98.4.11～12「アースデイ1998 in大通り公園」「同じ子どもの国」(横浜)にて「道だれ」写真展(「子どもの生きる権利を守る会」と合同)。</li> <li>▶'98.4.18.関西会員有志の集い。講師梶浦恒雄氏(大阪市立大学教授)(京都)。</li> <li>▶'98.4.26シンポジウム「地球環境と車社会の未来ープリウスから見えてくるもの」講師上岡直見氏。「道だれ」写真展(「青空の会」共催)(東京)。</li> <li>▶'98.5.17.第4回総会(東京)。</li> <li>▶'98.5.23.～5.24.「横浜弘明寺アートフェスティバル」にて「道だれ」写真展。</li> <li>▶'98.6月と9月関西会員有志の集い(京都)。</li> <li>▶'98.7.24.船橋にて「道だれ」写真展開催(「安歩権と安全に歩ける街を求めの会」と共催)、以降市内5ヶ所で開催。</li> <li>▶'98.9～10月3か所で「道だれ」写真展(埼玉上福岡、所沢航空公園、東京Ours'98)。</li> <li>▶'98.10.25.関東会員の集い「都電貸し切りツアー」。</li> <li>▶'98.11.14.北海道地区集会フォーラム「ひととクルマ」(札幌)。</li> <li>▶'98.11.21.九州会員と代表との集い(福岡)。</li> <li>▶'98.11.23.関西地区会員と代表との集い(大阪)。</li> <li>▶'99.2.13.東北地方会員懇談会(山形)。</li> <li>▶'99.2.20.関西会員有志の集い(京都)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'98.4.9.「春の交通安全週間50周年に当たっての緊急アピール」を送付。</li> <li>▶'98.7.1.『高等学校検定教科書への「オートバイの乗り方」掲載の再考をお願いする要望書』提出。</li> <li>▶'98.8.27.分離信号裁判判決支援傍聴・記者会見を主催(東京高裁)。</li> <li>▶'98.8～9「自転車レース大会」(鈴鹿サーキット)、「千歳日航国際マラソン」にてチラシ配布。</li> <li>▶'98.9.2.川崎公害裁判に団体署名。</li> <li>▶'98.9.21.「交通安全運動への提言」を関係省庁・団体に送付、報道機関に報告。</li> <li>▶'98.10.22.総務庁、警察庁と要望交渉(第44回日本母親大会省庁交渉行動)。</li> <li>▶'98.11.14.北海道地区集会フォーラムの意見を道・札幌市・道議会に送付。</li> <li>▶'98.12.21.岩波ブックレット『クルマ社会と子どもたち』(〈問い直す会〉杉田聡・今井博之著)刊行</li> <li>▶'99.1.20.「99年春の全国交通安全運動実施要綱への要望書」を関係省庁・運動主催団体に送付。</li> <li>▶'99.2.17.札幌弁護士会会長に要望書提出。</li> <li>▶'99.3.25.「自動車事故犯の非処罰化の撤廃を求める要望書」法務大臣・検事総長に提出。</li> <li>▶'99.3.25.「自動車騒音の新基準の再審査を求める要望書」を環境庁長官に提出。</li> </ul>
1999 (H11) 代表／杉田聡 事務局／高梨明	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'99.4.18. '99年度総会(東京)。</li> <li>▶'99.6月第2回東北会員の集い(山形)。</li> <li>▶'99.6.22.「交通事故を考える国会議員の会」にて杉田聡代表講演。</li> <li>▶'99.7.3.学習会「入門『交通安全基本法』」・関東会員の集い。</li> <li>▶'99.9.4.山形にて会員の集い。</li> <li>▶'99.9～10月. 2か所で「道だれ」写真展(東京多摩、埼玉新座)。</li> <li>▶'99.9.23.「都電は東京を救う」ビデオ上映会。</li> <li>▶'99.10.8.ブックレット発刊記念フォーラム(大阪交通遺児を励ます会と共催)(大阪)。</li> <li>▶'99.10.16.第3回東北会員の集い(福島)。</li> <li>▶'99.10.23.第3回都電試乗会・シンポジウム「クルマのいない街をめざして」。</li> <li>▶'99.11.6.シンポジウム「人はあたたかな社会をとり戻せるか」(札幌)。</li> <li>▶'00.2.19.第4回東北会員の集い(福島市)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'99.5.11.「平成11年春の全国交通安全運動への提言」を主催29団体に送付、報道機関に報告。</li> <li>▶'99.5.20.「鉄道事業法改正案に関する要請書」を参議院交通・情報通信委員会所属議員21名に送付。</li> <li>▶'99.9.20.秋の全国交通安全運動に向けて「交通安全運動への提言」を主催29団体に送付、報道機関に報告。</li> <li>▶'99.10.3.「東北本線貨物列車運行に関する要請書」を運輸大臣に提出。</li> <li>▶'99.10.14.建設省・運輸省・環境庁と要望交渉(第45回日本母親大会主催省庁交渉行動)。</li> <li>▶'99.10.20.モーターショーに際し公開質問状を車メーカーに提出。</li> <li>▶'99.11.22.「自動車優先政策の転換を求める要望書」建設省と要望交渉。</li> <li>▶'99.11.27.「モータリゼーションによる子どもの権利侵害の是正を求める要望書」を近畿弁護士連合会会長等に送付。</li> <li>▶'99.11.30.「夜光反射材ファッションショーの再考を求める」要望書を函館警察署に送付。</li> <li>▶'99.12.7.飲酒運転防止をねらいとした「酒類提供に関する質問・要望書」を、大手外食店26社などに送付(他5団体と連名)。</li> <li>▶'99.12.20.「『モータリゼーションがもたらす諸問題に関する質問状』へのメーカーの回答を公開。</li> <li>▶'00.2.1.「『雪道の子どもの安全を願う』要望書」を北海道庁、道警等6機関に提出。</li> </ul>

「道だれ」写真展とは、「道はだれのもの?東京」写真展の略。 ※1年間死者とは、その年に交通事故が原因で死亡した人の数(厚生統計)。

対外交流、連携活動	クルマ社会や交通関係の主な出来事
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'98.4.15.NO<sub>2</sub>・酸性雨全国一斉測定実行委員会出席。</li> <li>▶'98.6.14.「京都母親大会」参加。</li> <li>▶'98.8.1.「第44回日本母親大会」分科会担当。助言者菊池悦郎氏(金沢大学教授)(富山)。</li> <li>▶'98.10.10.「首都圏道路問題交流集会」参加(東京)。</li> <li>▶'98.11.1.「きょう(今日・京)クルマやめとこシンポジウムPART II」参加(京都)。</li> <li>▶'98.11.1.「日本科学者会議」にて「道だれ」写真展・研究発表(新潟)。</li> <li>▶'98.11.7.～11.8.「第24回道路公害反対運動全国交流集会」参加(名古屋)。</li> <li>▶'98.11.7.「代々木レインボーパレード」にて「道だれ」写真展・デモパレード参加。</li> <li>▶'98.11.8.「地球温暖化防止パレード」参加(京都)。</li> <li>▶'98.11.12.「全国消費者大会」にて「道だれ」写真展(東京)。</li> <li>▶'98.12.13.「第44回子どもを守る文化会議」分科会担当(埼玉)。</li> <li>▶'99.3.5.大気汚染全国一斉測定運動実行委員会出席。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'98年1年間死者*13,464人。負傷者990,676人。</li> <li>▶'98.道路交通法改正:運転免許更新時に高齢者講習義務化。</li> <li>▶'98.4.本州四国連絡橋・神戸鳴門ルート(明石海峡大橋)開通。</li> <li>▶'98.東京渋谷で「クリティカルマス」('97年の項参照)発生。</li> <li>▶'99.2.尼崎大気汚染公害訴訟('88年住民が国、阪神高速道路公団、企業を自動車排ガスと工場排煙差し止めと被害賠償で提訴)、公害防止対策などを条件に企業と和解。</li> <li>▶'98.イギリスで自動車中心から公共交通推進の政策へと転換を図る新交通政策白書を発表。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'99.5.22.「京のアジェンダ21」フォーラム交通部WG参加。</li> <li>▶'99.5.24.「地球温暖化防止京都ネットワーク」自転車部会出席(月1回)(京都)。</li> <li>▶'99.6.3.「第4回路面電車サミット」(豊橋)に参加。</li> <li>▶'99.6.19.道路問題連絡協議会合出席(以降毎月1回出席)。</li> <li>▶'99.6.23.日本教職員組合訪問。</li> <li>▶'99.6.25.地球温暖化防止京都ネットワーク「自転車を活かすまち京都」4回参加。</li> <li>▶'99.6.27.「第44回京都母親大会」参加。</li> <li>▶'99.7.31.「第45回日本母親大会」で分科会担当。助言者山中英生氏(徳島大学教授)(愛媛・松山)。</li> <li>▶'99.9.2.全日本教職員組合訪問。</li> <li>▶'99.10.16.～10.17.「レインボーパレード」(展示と行進)参加(東京)。</li> <li>▶'99.11.7.「第25回道路公害反対運動全国交流集会」参加(東京八王子)。</li> <li>▶'99.12.12.地球温暖化防止京都ネットワークシンポジウム分科会「自転車を活かすまちづくり」参加。</li> <li>▶'00.2.3.「京のアジェンダ21」フォーラム・環境にやさしい交通体系の創出WG参加(月1～2回)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'99年1年間死者*13,111人。負傷者1,050,399人。</li> <li>▶'99.9.29.山口下関駅(JR西日本)で男が車で駅構内に侵入、暴走。5人死亡、10人重軽傷。</li> <li>▶'99.11.28.東京世田谷区の東名高速道で飲酒運転大型トラックが乗用車に追突。乗用車が炎上し、幼児2人が死亡。遺族らが量刑強化を訴える。</li> <li>▶'99.5.本州四国連絡橋・尾道・今治ルート(瀬戸内しまなみ海道)開通。</li> <li>▶'99.11.名古屋南部大気汚染公害訴訟(国と企業10社に自動車排ガスや工場排煙差し止めと被害賠償を求め'89年から提訴)、第1次提訴判決。企業の損害賠償、国は一部原告への損害賠償命令。</li> <li>▶'99.自転車通勤(自転車ツーキニスト)ブーム。</li> <li>▶'00.3.8.東京 営団地下鉄日比谷線中目黒駅で脱線事故。5人死亡、60人以上重軽傷。</li> </ul>

年度	会主催・共催等イベント(総会、講演会、写真展等)	意見書・要望書、執筆等発信活動
2000 (H12) 代表／三田直水 副代表／斎藤基雄 事務局／藤本真一 杉田久美子	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'00.4.15.第6回総会。記念講演「交通事故被害者のおかれている現状」講師井手渉氏(全国交通事故遺族の会会長)(東京)。</li> <li>▶'00.4.16.東京銀座にて街頭宣伝。</li> <li>▶'00.4~7月.会のステッカー作成・配布。公開承諾会員に公開名簿発送。</li> <li>▶'00.5~6月.2か所で「道だれ」写真展(埼玉所沢、東京稲城)。</li> <li>▶'00.6.18.成田市道路ウォッチ。</li> <li>▶'00.6.11.学習会・都電試乗会「2000都電は東京を救う4」。</li> <li>▶'00.6.30.『クルマ社会を問い直す』20号・5周年記念号外発行。</li> <li>▶'00.7.23.鳥取タウンウォッチ。</li> <li>▶'00.10.7.週刊金曜日読者会にて招待を受け問題提起(福島)。</li> <li>▶'00.11.4.シンポジウム『雪道を気持ちよく歩こう』(札幌)。</li> <li>▶'00.11.11.「交通事故被害者を考える集い」(毎日新聞社主催・本会后援)。講師江刺正嘉記者他(鳥取)。</li> <li>▶'00.11.11.「交通教育研究会」設立会(代表:前田敏章会員)。講師斎藤基雄世話人(札幌)。</li> <li>▶'00.11.25.シンポ「首都圏におけるLRT導入の可能性と展望」(21世紀都市交通国民会議と共催)。約100名参加。</li> <li>▶'00.12.2.~12.3.講演会(講師三田直水代表)・学習会・道路写真展・道路ウォッチ(鳥取県倉吉市)。</li> <li>▶'01.2.17.東北会員の集い(福島)。</li> <li>▶'00.12. 2か所で「道だれ」写真展(鳥取・京都立命館大学)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'00.5.13.『道路運送法「改正」法案に関する要請書」を参議院交通通信委員会に提出。</li> <li>▶'00.6.24.総選挙にて各政党へ質問状提出。回答を報道機関等に公開。</li> <li>▶'00.6.25.地球温暖化防止京都ネットワークホームページ時評欄に投稿文公開。</li> <li>▶'00.7.21.函館市主催移動市長室にて函館市電へのLRT・トランジットモール導入を要求。</li> <li>▶'00.9.8.第7次交通安全基本計画国民公聴会に参加(千葉幕張メッセ)。</li> <li>▶'00.9.20.『交通安全運動への提言』を都道府県に送付。</li> <li>▶'00.9.28.総務庁・建設省と要望交渉、要望書提出(第46回日本母親大会省庁行動)。</li> <li>▶'00.12.11.運転者への酒類提供自粛を促す質問・要望書を、大手外食店などに提出(他団体と連名)→3月に結果まとめ報道発表。</li> <li>▶'00.12.31.悪質運転者の刑罰強化署名運動を支援(署名用紙を全会員に配布)。</li> <li>▶'00.12.31.東京大気汚染公害裁判支援署名呼びかけ(署名用紙を全会員に配布)。</li> <li>▶'01.1.29.日弁連会長・子どもの権利委員会に「モータリゼーションによる子どもの権利侵害の是正を求める要望書」提出。</li> <li>▶'01.2.8.国土交通省へ「圏央道の建設中止と、代案となる交通需要対策を求める要望書」提出。</li> </ul>

「道だれ」写真展とは、「道はだれのもの?東京」写真展の略。 ※1年間死者とは、その年に交通事故が原因で死亡した人の数(厚生統計)。

対外交流、連携活動	クルマ社会や交通関係の主な出来事
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'00.4.8.G8環境大臣会合平行開催シンポジウム「Don't Kill トークショップ」参加(大津)。</li> <li>▶'00.4.9.地球温暖化防止京都ネットワーク第4回WS「自転車を活かすまち京都」参加。</li> <li>▶'00.4.22.~4.23.「アースデイ東京」「アースデイ京都」に参加。</li> <li>▶'00.5.5.日本子どもを守る会、上野でアピールに参加。</li> <li>▶'00.5.24.第8回環境自治体会議参加(熊本県水俣)。</li> <li>▶'00.5月~交通平和プロジェクト会合参加(隔月)。</li> <li>▶'00.7.29.京都市都市計画局都市づくり推進課「歩いて暮らせる街づくり推進会議」出席。</li> <li>▶'00.7.29-30.「第46回日本母親大会」分科会担当。助言者小林容子氏(東京大気汚染公害訴訟弁護士)(東京)。</li> <li>▶'00.7.30.「京のアジェンダ21」フォーラム交通WS「集まれ!100円循環バス市民応援団」参加。</li> <li>▶'00.8.京都市都市づくり推進課「まちなか子ども探検隊」、「ワークショップ」参加。</li> <li>▶'00.9.10.「第46回子どもを守る文化会議」分科会担当(山形県鶴岡市)。</li> <li>▶'00.9.23.日本初の「東京カーフリーデー」に「道だれ」写真展示参加(東京代々木公園)。</li> <li>▶'01.3.21.都市計画学会関西支部シンポジウム「京都市都心の活性化と交通政策」参加(京都)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'00年1年間死者*12,857人。負傷者1,155,707人。</li> <li>▶'00.4.神奈川県座間市で飲酒、無免許、無車検の男が車を暴走、歩道上の大学2年生をはね即死させた。遺族らが量刑強化を訴える。</li> <li>▶'00.道路交通法改定:6歳未満児チャイルドシート使用義務化。</li> <li>▶'00.東京都石原都知事がディーゼル車の窒素酸化物規制、排出基準超過車両の走行禁止表明。自動車メーカーの技術開発を促進。</li> <li>▶'00.12.尼崎大気汚染公害訴訟('98年の項参照)、国・公団と和解成立。</li> <li>▶'01.1.省庁再編により環境省発足。</li> <li>▶'00.「自転車活用推進研究会」発足。</li> <li>▶'01.3.クルマ技術関連:ASV(先進安全自動車)推進計画第3期開始。</li> <li>▶'01.3.クルマ技術関連:高速道でETC(電子料金収受システム)サービス開始。</li> <li>▶'01.ドイツで道路交規規則改正。ゾーン30を生活圏だけでなく商業圏にも拡大推進。</li> </ul>

年度	会主催・共催等イベント(総会、講演会、写真展等)	意見書・要望書、執筆等発信活動
2001 (H13) 代表／三田直水 副代表／斎藤基雄 事務局／藤本真一 杉田久美子	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'01.4.26.「交通事故問題支援ネット」(代表:前田敏章氏)設立総会にて杉田聡世話人講演(札幌)。</li> <li>▶'01.5.19.第7回総会。記念講演、講師清水真哉会員・金井恵里可会員(東京文京区)。</li> <li>▶'01.5.20.東京銀座にて街頭宣伝・会新規パンフレット製作。</li> <li>▶'01.6.16.第6回東北会員のつどい・タウンウォッチング(福島市)。</li> <li>▶'01.6.18.~7.1.「道だれ」写真展・意見交換会(三重県津市)。</li> <li>▶'01.6.23.路面電車を走らせたい会準備会(東京)(以下3回開催)。</li> <li>▶'01.8.25.京都駅前で街宣活動、交流会。</li> <li>▶'01.8.26.講演会「通学路の交通事故を無くそう!」講師合田創氏(東大阪市教組委員長)、磯崎由美子氏(毎日新聞記者)他(茨城つくば市)。</li> <li>▶'01.9.29.第7回東北会員のつどい(福島市)。</li> <li>▶'01.10.24.「九州の鉄道体験ツアー」。</li> <li>▶'01.11.10.北海道の集い。講師川村雅則会員(札幌)。</li> <li>▶'01.11.18.路面電車を走らせたい会学習会(クルマ問題フォーラムと共催)。</li> <li>▶'02.1.「クルマと子どもアンケート」配布開始</li> <li>▶'02.2.10.「東風の詩コンサート」(札幌市等後援)。120名参加(札幌)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'01.4.10.「交通安全運動への提言」を都道府県を含む主催団体に送付。</li> <li>▶'01.6.18.「道路特定財源の用途見直しを支持する表明書」関係省庁に送付。</li> <li>▶'01.7.15.「子ども地球白書」(朔北社)に会活動紹介執筆。</li> <li>▶'01.8.20.『NODE』特集「クルマ社会を問い直す」に執筆。</li> <li>▶'01.9.20.『交通安全運動への提言』を都道府県を含む主催団体に送付。</li> <li>▶'01.10.22.法務大臣に悪質運転者の量刑強化を求める署名簿を提出。</li> <li>▶'01.10.26.東京モーターショーに合わせメーカーへ提言書送付(東京)。</li> <li>▶'01.11.28.国土交通省・日本テレビ要望懇談・要望書提出(第47回日本母親大会省庁行動)。</li> <li>▶'01.11.雑誌「QUEST」書評記事にて杉田前代表の著作とともに会運動を紹介。</li> <li>▶'01.9.30.東京都のカーフリーデー参加実現署名運動。</li> <li>▶'01.12.大手外食店に飲酒運転対策要望・質問書を送付。</li> <li>▶'02.2.12.国土交通省と道路の歩行者安全対策を求める要望懇談・要望書提出。</li> </ul>

「道だれ」写真展とは、「道はだれのもの?東京」写真展の略。 ※1年間死者とは、その年に交通事故が原因で死亡した人の数(厚生統計)。

対外交流、連携活動	クルマ社会や交通関係の主な出来事
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'01.4.21.「母と女性教職員の会」総会にて種村康子世話人講演(小樽市)。</li> <li>▶'01.4.21.~4.22.「アースデイ東京」に「道だれ」写真展示参加。</li> <li>▶'01.5.13.「子どもの権利条約 市民・NGO報告書をつくる会」総会出席。</li> <li>▶'01.5.26.交通権学会関西支部会(韓国、イギリスの交通政策)参加(大阪)。</li> <li>▶'01.5~6月. 大気汚染カプセル調査運動参加(京都)。</li> <li>▶'01.6月・11月.大阪豊中市「通学路の安全を考えるシンポジウム」第1回、2回に長谷智喜会員他参加。</li> <li>▶'01.8.25.「第47回日本母親大会」分科会担当。助言者土居靖範氏(立命館大学教授)(滋賀草津市)。</li> <li>▶'01.9.9.「鳥取県母親大会」分科会担当。助言者三田直水代表(鳥取米子市)。</li> <li>▶'01.9.9.「東京大気汚染公害裁判を支援する会総会・講演会」参加。</li> <li>▶'01.9.22.~9.23.「TOKYOカーフリーデー2001」に「道だれ」写真展参加。</li> <li>▶'01.10.24.~10.28.「全国路面電車サミット2001」参加(熊本)。</li> <li>▶'01.11.22.三重大学人文学部自主公開講座で「地域生活交通～クルマ社会を考える～」会員講演。</li> <li>▶'01.11.24.「自転車とわたしづくり・まちづくり・環境づくり」で講演(新潟県三条市)。</li> <li>▶'01.11.長谷智喜会員、分離信号について講演(青山学院大学法学部ゼミ、神奈川高校PTA連合会大会)。</li> <li>▶'01.12.2.岐阜市道づくりフォーラム「優しい道づくり」で会員講演。</li> <li>▶'01.12.~02.1.全道市民フォーラム等で「道だれ」写真展示(札幌)。</li> <li>▶'02.2.23.~2.24.「日本子どもを守る文化会議」分科会担当。長谷智喜・かつゑ夫妻他(山梨石和)。</li> <li>▶'02.3.24.自転車利用促進フォーラム ミニトーク「自転車ライフを楽しむ」パネラー参加(新潟県三条市)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'01年度～「第7次交通安全基本計画」(01～05年度)。年間死者(24時間以内)目標8466人以下。(結果:02年以降、かろうじて達成)。</li> <li>▶'01年1年間死者*12,378人。負傷者1,181,039人。</li> <li>▶'01.12.危険運転致死傷罪新設、施行(最高刑死亡の場合15年、傷害の場合10年)。99年11月の東名高速事故など悪質運転の遺族らの訴えによる。</li> <li>▶'01.9.20.警察庁が「分離信号、2002年1月より全国で100カ所設置」の方針発表。</li> <li>▶'02.3.4.東京八王子上川橋交差点で分離信号の運用開始。</li> <li>▶'01.道路構造令改正:道路の凸部、狭窄等を位置づけ。</li> <li>▶'01.鉄道・貸切バス事業規制緩和。需給調整規制廃止。以降、地方中小鉄道の路線廃止が進行。</li> <li>▶'01.8.名古屋南部大気汚染公害訴訟('99年の項参照)和解成立。企業の解決金支払い、国の汚染物質環境基準達成に向けた施策検討・実施努力など。</li> <li>▶'01.フランス、パリ市長ドラエノ氏「思いっきり息が吸えるパリ!」をスローガンに交通渋滞の緩和と環境保護に立ち上がる。</li> </ul>

年度	会主催・共催等イベント(総会、講演会、写真展等)	意見書・要望書、執筆等発信活動
<b>2002 (H14)</b> 代表／三田直水 副代表／中里俊之 事務局／藤本真一 杉田久美子	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'02.5.18.第8回総会・活動報告会(東京)</li> <li>▶'02.5.19.第3回東京銀座街宣活動。</li> <li>▶'02.6.29.路面電車を走らせたい会勉強会(以降4回)(東京)</li> <li>▶'02.9～10月公開名簿、はがき通信作成・発送。</li> <li>▶'02.11.4.活動報告会「量刑強化と飲酒運転を無くす運動」講師井上保孝・都美氏(飲酒運転被害者遺族)ほか12題(東京)。</li> <li>▶'02.11.23.講演会「環境と公共交通—ドイツ・スイスの先進的事例」講師菊池悦朗氏(金沢大学教授)講演会(鳥取市)。</li> <li>▶'02.11月・12月なごや自由学校講座「クルマ社会を問い直す 道は誰のもの？」講師今井博之会員、上岡直見会員。</li> <li>▶'02.11.24.公共交通に関する座談会(鳥取市)。</li> <li>▶'02.12.1.生活思想社(東京)へ会所在地と対外窓口業務を委託開始。</li> <li>▶'02.12.11.「交通問題を考える国会議員の会」総会にて分離信号について長谷智喜会員報告。</li> <li>▶'02.8月有志メーリングリスト開設。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'02.5.19.国連子どもの権利委員会他に意見書送付。</li> <li>▶'02.5.20.「ローカル線合理化より鉄道活性化を求める要望書」JR西日本に送付。</li> <li>▶'02.5.21.北海道庁主催「環境目的税についての意見を聞く会」にて、目的税の対象からガソリンを除外することに反対を表明。</li> <li>▶'02.7.13.鳥取県へアイドリングストップ条例化についての提言を送付。</li> <li>▶'02.8.7.「交通政策・規制等に関する要望書」を鳥取県・鳥取県警等に送付。</li> <li>▶'02.9.21.秋の交通安全運動への提言を内閣・主催団体等へ送付。</li> <li>▶'02.11.19.鳥取市議会へ「交通政策・規制等に関する陳情書」送付。</li> <li>▶'02.12.意見報告書「クルマ優先社会における子どもの権利侵害について」を子どもの権利条約市民・NGO報告書をつくる会に提出。</li> <li>▶'03.3.13.警察庁にて要望交渉。要望書提出。</li> </ul>
<b>2003 (H15)</b> 代表／三田直水 副代表／中里俊之 事務局／藤本真一 杉田久美子	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'03.4.19.なごや自由学校講座「クルマ社会を問い直す、道は誰のもの？」講師安達博会員。</li> <li>▶'03.5.18.第9回総会。講演会「『歩行者の道』の復権」講師津田美知子会員(生活環境デザイン室主宰)(東京)。</li> <li>▶'03.9.9.公開名簿作成・発送。</li> <li>▶'03.10.26.「駅と自転車」シンポジウム(千葉船橋)。</li> <li>▶'04.1.11.「クルマ社会と子どもアンケート」報告書検討会。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'03.4.24.意見報告書「クルマ優先社会における子どもの権利侵害について」の英訳文を子どもの権利条約市民・NGO報告書をつくる会に提出。</li> <li>▶'03.5.5.東京上野動物園にて、子どもの権利についてアピール(日本子どもを守る会主催)に参加。</li> <li>▶'03.5.11.春の交通安全運動への提言を内閣・主催団体等に送付。</li> <li>▶'03.7.11.韓国SBS放送取材対応。</li> <li>▶'03.8.26.環境省要望交渉、要望書提出。</li> <li>▶'03.9.21.秋の交通安全運動への提言を内閣・主催団体等へ提出。</li> <li>▶'03.11.9.衆議院議員選挙に際し政党へ政策質問状を送付、回答を公開。</li> <li>▶'04.2.日本テレビズームアイ「検証交通地帯」で取材協力。</li> <li>▶'04.3.10.エフエムひらかたインタビュー対応 交通安全期間中、数回放送。</li> <li>▶'04.3.31.「クルマ社会と子ども」アンケート関連で毎日新聞の取材対応。</li> <li>▶'04.3.31.「クルマ社会と子どもアンケート」報告集発行。</li> </ul>

「道だれ」写真展とは、「道はだれのもの?東京」写真展の略。 ※1年間死者とは、その年に交通事故が原因で死亡した人の数(厚生統計)。

対外交流、連携活動	クルマ社会や交通関係の主な出来事
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'02.4.20.～4.21.「アースデイ東京」に「道だれ」写真展示参加(東京)。</li> <li>▶'02.6.28.環境省主催環境モニター会議に参加(北海道)。</li> <li>▶'02.7.7.鳥取県母親大会「車イスで街を行こう!」参加。</li> <li>▶'02.7.27.「京のアジェンダ21 フォーラム」参加(以降5回)。</li> <li>▶'02.7.27.～7.28.交通権学会函館研究大会に参加(北海道)。</li> <li>▶'02.9.4.～9.7.第2回環境未来都市EXPO2002に「道だれ」写真展示参加(千葉幕張メッセ)。</li> <li>▶'02.9.「もっと元気に北海道フェア」NPOブースに展示参加(札幌)。</li> <li>▶'02.9.22.東京シティサイクリング(日本サイクリング協会)に参加。</li> <li>▶'02.10.29.東京大気汚染公害訴訟第一次判決日行動に参加。</li> <li>▶'02.11.14.「くらしのみちシンポジウム」(全国地方新聞社連合会主催)に参加(東京)。</li> <li>▶'02.12.7.大阪豊中市「第4回通学路の安全を考えるシンポジウム」長谷智喜会員講演。</li> <li>▶'03.2.1.～2.2.「市民活動全道フォーラム」へ「道だれ」写真展示参加(札幌)。</li> <li>▶'03.2.15.第6回路面電車フォーラムに参加。</li> <li>▶'03.2.28.「子どもの通学路の安全を考える会」主催講演会で長谷智喜会員講演(大阪市)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'02年1年間死者*11,743人。負傷者1,168,029人。</li> <li>▶'02.1.神奈川県横浜市中原街道で重機積載大型トレーラーの左前輪が外れて歩道の母子3人を直撃、母親死亡、2児負傷。三菱重工製車両ハブ破損と判明、リコール隠しが社会問題に。'07年三菱ふそうトラック・バス謝罪、リコール。</li> <li>▶'02.6.道路交通法改正：飲酒運転・酒気帯び選手罰則強化。高齢者講習受講対象を70歳以上に拡大。</li> <li>▶'02.乗合バス・タクシー・貨物鉄道事業の規制緩和。需給調整規制廃止。以降、地方部の乗合バスの路線廃止が進行。</li> <li>▶'02.ガソリン乗用車の排ガス規制強化。各社の多くの車種が生産中止に。</li> <li>▶'02.10.東京大気汚染公害訴訟(96年の項参照)東京地裁判決。原告喘息患者の一部に被害を認め、国・都・首都高公団・車メーカーに損害賠償責任を認める。都を除く原告と被告双方が東京高裁に控訴。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'03.9.12.～9.15.全国NPOフォーラム・北海道全道NPOフォーラムでパネル展示参加(札幌)。</li> <li>▶'03.7～11月.貝塚市教組主催の会、ファミリーマート合同低温センター長会議で長谷智喜会員、分離信号について講演(東京)。</li> <li>▶'03.6.大阪豊中市「第5回通学路の安全を考えるシンポジウム」(主催:豊中市教職員組合)に参加。</li> <li>▶'03.7.4.環境省主催北海道地区環境モニター会議に出席(札幌)。</li> <li>▶'03.7.12.～7.13.「交通権学会研究大会」に参加、会員3名問題提起(千葉)。</li> <li>▶'03.10.3.「路面電車サミット」分科会「環境・車社会と路面電車」担当(中里俊之副代表)。パネリスト上岡直見氏他。</li> <li>▶'04.1.東京多摩市で分離信号について長谷智喜会員講演。</li> <li>▶'04.2.16.「つくば市民環境会議」分科会に提言参加。</li> <li>▶'04.2.28.～2.29.「子どもを守る文化会議」分科会担当。椎名文彦氏(元小学校校長)他(長野)。</li> <li>▶'04.3.8.子ども環境学会設立準備会に参加(以降定期参加)。</li> <li>▶'04.3.12.環境省主催道南地域環境教育情報交流会に参加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'03年1年間死者*10,913人。負傷者1,181,681人。</li> <li>▶'03～国による「あんしん歩行エリア」整備事業開始('03～'12年)</li> <li>▶'03.(独)自動車事故対策機構(NASVA)設立。</li> <li>▶'03.トラック事業規制緩和。</li> <li>▶'03.イギリス・ロンドンで世界初の渋滞税徴収開始。</li> <li>▶'03.オーストリア・ウィーンでヨーロッパ初のコミュニティ・サイクル導入。</li> </ul>

年度	会主催・共催等イベント(総会、講演会、写真展等)	意見書・要望書、執筆等発信活動
<b>2004 (H16)</b> 代表／三田直水 副代表／中里俊之 事務局／藤本真一 杉田久美子	▶'04.5.22.第10回総会。シンポジウム「クルマ社会・子どもの命をどう守るか」石毛昭治氏(日本交通安全教育普及協会)他(東京)。 ▶'04.7.3.フォーラム「子どもが思いっきり遊べる街に」澤口俊之氏(北大教授)他(札幌)。 ▶'04.9.13.公開会員名簿作成・発送。 ▶'04.11.20.「クルマ社会を問い直すシンポジウム」杉田久美子・栗野宏・小林和彦・中里俊之各会員他(山形)。 ▶'05.1.14.東京月例ミーティング(以降毎月開催)。	▶'04.4.6.春の全国交通安全運動への提言書を内閣府、主催 団体等へ送付。 ▶'04.5.8.トラックの安全性に関する質問書をメーカーに送付、回答を得る。 ▶'04.5.13.教育医事新聞社より、「クルマ社会と子ども」アンケートの内容に関して取材を受ける。 ▶'04.5.路側帯についての質問を警察庁に出し回答を得る。 ▶'04.6.21.参議院議員選挙にあわせ、政党へ政策質問状を送付、回答を公開。 ▶'04.7.法定速度の決め方等についての質問を内閣府等に出し回答を得る。 ▶'04.9.21.秋の交通安全運動への提言を内閣・主催団体等へ提出。 ▶'04.10.31.冊子「クルマ社会と子どもたち」(その後)「交通沈静化の海外の取り組み」今井博之会員著、製作・発行。 ▶'04.12.都道府県職員の通勤手当と通勤状況について調査し、回答を得る。 ▶'05.2.5.月刊誌「子どものしあわせ」(草土文化社)3月号のクルマ問題特集に執筆・編集参加。 ▶'05.2.16.朝日新聞2.10付朝刊「ひと」欄の報道について、トヨタ自動車と朝日新聞社に抗議文送付、トヨタより回答得る。
<b>2005 (H17)</b> 代表／古川量巳 副代表／中里俊之 事務局／藤本真一	▶'05.4月～東京月例ミーティング(毎月1回開催)。 ▶'05.5.21.第11回総会。講演会「札幌市電とまちづくり」講師吉岡宏高氏(LRT札幌代表)(東京)。 ▶'05.5.都道府県職員の通勤手当と通勤状況についての調査結果を集計。 ▶'05.7.31.『クルマ社会を問い直す』40号発行。 ▶'05.11.12.講演会「人にやさしい交通」講師今井博之会員(山形)。 ▶'05.11.13.講演会「クルマのいない街づくり」講師青木仁氏(都市計画専門家)(東京)。	▶'05.4.6.春の全国交通安全運動への提言書を内閣・主催団体等に送付。 ▶'05.9.11.衆議院議員選挙にあわせ、政党へ政策質問状を送付、回答を公開。 ▶'05.10.31.飲酒ひき逃げ事犯に厳罰を求める運動、ひき逃げ犯に厳罰を求める運動に協力。
<b>2006 (H18)</b> 代表／古川量巳 副代表／杉田正明 事務局／清水真哉 後藤昇	▶'06.4月～東京月例ミーティング(毎月1回開催)。 ▶'06.5.20.第12回総会を開催(東京)。 ▶'06.5.20.講演会「自転車活用研究会の目指すもの」講師小林成基氏(自転車活用推進研究会事務局長)、「ビジョンゼロを日本で推進!」講師児島早苗氏(交通事件遺族)、「脱クルマの課題の広がり」と深み」講師杉田正明会員(東京)。 ▶'06.9.2.関西ミーティング(大阪)。 ▶'06.11.4.講演会「歩いて楽しい魅惑都市づくり」講師青木仁氏(都市計画専門家)(山形市)。	▶'06.6.14.「ナンバープレートカバー・不正改造マフラーについての要望書」を国土交通省、警察庁、環境省に提出。11月回答を得る。 ▶'07.1.警察庁の道路交通法改正パブリックコメントに対し会員による意見提出。

「道だれ」写真展とは、「道はだれのもの?東京」写真展の略。 ※1年間死者とは、その年に交通事故が原因で死亡した人の数(厚生統計)。

対外交流、連携活動	クルマ社会や交通関係の主な出来事
▶'04.5.4.～5.5.「こども環境学会設立大会」に「道だれ」写真展示参加。 ▶'04.9.23.「横浜カーフリーデー」に展示参加。 ▶'04.4.20.日本消費者連盟に「クルマ社会と子ども」アンケート関連の原稿送付。 ▶'04.7.10.～7.11.交通権学会2004年度研究大会に有志参加(大阪)。 ▶'04.10.22.～10.24.「路面電車サミットin高知」に有志参加。 ▶'05.2.26.～2.27.「日本子どもを守る文化会議」分科会担当。藤田敏夫氏(NO <sub>2</sub> 測定運動東京代表)、朝倉幹晴会員他(千葉)。 ▶'05.12月～こども環境学会次年度準備会定期参加。	▶'04年1年間死者*10,551人。負傷者1,183,617人。 ▶'04.道路交通法改正：運転中の携帯電話使用罰則強化。酒気帯び検査拒否罰金引き上げ。 ▶'05.1.危険運転致死傷罪の最高刑、死亡の場合20年、傷害の場合15年に引き上げ。 ▶'05.1.自動車リサイクル法施行。 ▶'04.4.～札幌市交通局が市営バスの運行から撤退(政令指定都市で初)、路線を民間バス事業者に完全移譲。 ▶'04.7.福井豪雨発生。JR越美北線九頭竜川水系足羽川の5橋梁が流失、同線一部区間不通に('07.6.30.まで)。 ▶'04.10.23.新潟県中越地震(M6.8)発生。死者68名。 ▶'04.10.クルマ技術関連：第11回ITS世界会議、名古屋で開催。
▶'05.4.22.～4.24.「こども環境学会第2回大会」運営参加。イアン・ロバーツ氏「子どもと交通戦争」講演。分科会反町吉秀氏(青森保健所保健医長)、木下勇氏(千葉大学教授)、今井博之会員他(東京)。 ▶'05.9.23.～9.25.「横浜カーフリーデー」運営参加(展示・講演会)。 ▶'05.8.5.千葉県幼児交通セミナーに参加。 ▶'05.8.24.～8.26.「チャイルドストリート2005国際会議」に参加(今井博之会員)「クルマ社会と子どもアンケート・ダイジェスト版英訳」配布して講演(オランダ・デルフト)。 ▶'06.3.11.～3.12.「日本子どもを守る文化会議」分科会担当。	▶'05年1年間死者*10,028人。負傷者1,157,113人。 ▶'05.4.2.仙台アーケード街でトラックが歩行者を追いかけ回して暴走。3人死亡、4人負傷。 ▶'05.5.22.宮城多賀城市の国道で飲酒運転RV車がウォークラリー中の仙台育英高校生の列に突込み、生徒3人死亡、15人重軽傷。 ▶'05.4.25.JR福知山線脱線事故。死者107人、負傷者555人、JR史上最悪の鉄道事故となる。 ▶'05.クルマ技術関連：「愛・地球博」で会場内交通手段として磁気マーカー自動無人運転車導入。 ▶'05.4.クルマ技術関連：ASV推進計画第4期開始。 ▶'05.10.クルマ技術関連：米国防高等計画局で自律走行車走行競技を実施。5台完走。 ▶'95年合併特例法改正以来、平成の市町村大合併が進行、'99～'06年までに市町村数は3,232→1,821に激減。
▶'06.9.23.「横浜カーフリーデー」に「道だれ」写真展示参加。	▶'06年度～「第8次交通安全基本計画」(06～10年度)。年間死者(24時間以内)目標5500人以下、死傷者100万人以下。(結果：08年以降かろうじて達成)。 ▶'06年1年間死者*9,048人。負傷者1,098,564人。 ▶06.8.25.福岡「海の中道大橋」で飲酒運転の車が乗用車に追突。乗用車は海に落ち、幼児3人が死亡。飲酒運転、飲酒を隠す隠蔽工作やひき逃げなどが問題に。逃げ得を許さない要望等が高まる。 ▶'06.道路交通法改正：駐車違反取締の民間委託、放置車両違反金制度導入。

年度	会主催・共催等イベント(総会、講演会、写真展等)	意見書・要望書、執筆等発信活動
<b>2007 (H19)</b> 代表／古川量巳 副代表／杉田正明 足立礼子 事務局／清水真哉 後藤昇	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'07.4月～東京月例ミーティング(毎月1回開催)。</li> <li>▶'07.5.19.第13回総会。講演会「富山市で日本初のLRTが開業」講師大野真一氏(LRTシステムアドバイザー)、「下北沢の町の魅力と都市計画問題」講師「金子賢三氏(Save the 下北沢)(東京)。</li> <li>▶'07.東京ミーティング。塚本敬会員に公共交通について聞く。</li> <li>▶'08.3.1.講演会「どう減らす?自動車排気ガスによる喘息」講師西村隆雄氏(東京大気汚染公害訴訟弁護士)(東京)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'07.11.12.国の道路整備中期計画についての意見書を国土交通省に提出、意見を述べる。</li> <li>▶「エコ通勤制度を求める陳情書」を山口県に提出(林裕之世話人)。</li> </ul>
<b>2008 (H20)</b> 代表／杉田正明 副代表／足立礼子 事務局／清水真哉 後藤昇	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'08.4月～東京月例ミーティング(ほぼ毎月1回開催)。</li> <li>▶'08.5.24.第14回総会。講演会「高齢ドライバー激増時代」講師所正文氏(国士館大学教授)(東京)。</li> <li>▶'08.独自ドメイン「toinaosu.org」取得(事務局担当の個人名義)。</li> <li>▶'08.6.東京ミーティングにて全国交通事故遺族の会の戸川孝仁氏・片瀬邦博氏からドライブレコーダー等について話を聞く。</li> <li>▶'08.9.7.大阪ミーティング、映画『0からの風』上映会・懇談会。</li> <li>▶'08.10.2.藤沢市で「クルマを止めて地球温暖化防止に貢献しよう」講演(古川量巳前代表)。</li> <li>▶'08.11.8.講演会「フライブルク市の交通政策と持続可能な未来交通」講師村上敦氏(中村欣嗣会員企画による)(札幌)。</li> <li>▶'08.11.29、12.20.学習会「クルマの社会的費用について」講師杉田正明代表。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'08.4.20.ガソリン税争点化に関連して、意見書「自動車への環境税・渋滞税導入でクルマ以外の移動手段推進を!—自動車関連税制をはじめとする交通政策に関する意見書—」を国の機関、マスコミ、政党、議員に対して共同提出。</li> <li>▶'08.4.冊子「脱クルマ その課題の広がり」(杉田正明会員執筆)発行。</li> <li>▶'08.10.31.「高速道路料金引き下げに反対する」緊急共同声明を関係機関へ送付。</li> <li>▶'08.11.「世界道路交通犠牲者の日」のリーフレットを、持続可能な環境を考える会(井坂洋士会員)と共同作成。</li> </ul>
<b>2009 (H21)</b> 代表／杉田正明 事務局／清水真哉 後藤昇	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'09.4.18.第15回総会。講演会「かしこいクルマの使い方～モビリティ・マネジメントの概要と事例」講師谷口綾子氏(筑波大学講師)(東京)。</li> <li>▶'09.5月～東京月例ミーティング(ほぼ毎月1回開催)。</li> <li>▶'09.4.会員アンケート実施。</li> <li>▶'09.東京ミーティングにて会員による学習会「トヨタ自動車に対する一株株主運動」「自転車交通が抱える問題点」「東京大気汚染訴訟で学んだこと」など。</li> <li>▶'09.8.29.学習会「温暖化問題の現状ほか」講師杉田正明代表。</li> <li>▶'10.3.31「歩行者の安全を求める議員連盟」準備会発足。横浜市議2名、朝倉幹晴・田中牧・佐藤清志・井坂洋士各会員。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'09.5.6.「自動車購入補助金制度に反対する声明」を国の関係機関に送付。</li> <li>▶'09.7.25.「高速道路無料化などに反対する」意見書を自転車スイスイ、エコクリエーターズクラブと共同で送付。</li> <li>▶'09.8.衆議院総選挙にあたり各政党へアンケートを実施、回答を公開。</li> <li>▶'09.環境省「PM2.5環境基準答申案」への意見募集へ意見応募。</li> <li>▶'09.12.5「公共交通への緊急アピール」(全国路面電車ネットワーク発案)に賛同(東京)。</li> </ul>

「道だれ」写真展とは、「道はだれのもの?東京」写真展の略。 ※1年間死者とは、その年に交通事故が原因で死亡した人の数(厚生統計)。

対外交流、連携活動	クルマ社会や交通関係の主な出来事
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'07.4.29.「こども環境学会横浜大会」でシンポジウム「道草のできるまちづくり—車社会から子どもを守る」企画運営。水月昭道氏(立命館大学)、谷口綾子氏(筑波大学)、上岡直見氏(環境自治体会議)、今井博之会員他(横浜)。</li> <li>▶'07.6.9.豊中市「通学路の安全を考えるシンポジウム」にて佐藤清志会員講演。</li> <li>▶'07.9.22.「横浜カーフリーデー」に「道だれ」写真展示参加。</li> <li>▶'07.9.22.「カーフリーデーパレード」(つくば市)田中英則会員他で開催。</li> <li>▶'07.11.東京小平「自転車スイスイ」(渡辺進会員代表)で講演会「自転車はどこを通ればいいのか?」講師小林成基氏(自転車活用推進研究会事務局)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'07年1年間死者*8,268人。負傷者1,034,652人。</li> <li>▶'07.5.危険運転致死傷罪改正:自動二輪にも適用。</li> <li>▶'07.6.自動車運転過失致死傷罪を刑法に制定、施行。'06年の福岡「海の中道大橋事件」の遺族などの訴えによる。</li> <li>▶'07.道路交通法改正:飲酒運転罰則強化、救護義務違反(ひき逃げ)、麻薬等使用の運転の罰則強化。飲酒者への車両提供、運転車への酒類提供などの処罰規定新設。中型自動車・中型免許制度の施行。</li> <li>▶'07.地域公共交通活性化再生法施行。</li> <li>▶'07.8.東京大気汚染公害訴訟('96年の項参照)和解成立。国が喘息患者の救済制度を創設、国・都・首都高公団は環境対策を実施、自動車メーカーは原告に12億円支払いなど。</li> <li>▶'08.1.自動車NOx法・PM法改正施行。大都市の大気汚染改善のため、都道府県知事の計画策定、自動車利用業者の排出抑制強化等。</li> <li>▶'07.フランス・パリでコミュニティ・サイクル「ヴェリブ」と自転車専用道路全市整備、路面電車(LRT)整備を推進。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'08.9.23.「横浜カーフリーデー」に展示参加。</li> <li>▶'08.9.23.横浜カーフリーデー参加団体交流会で「クルマ社会を問い直す」をアピール(杉田正明代表)。</li> <li>▶'08.10.17.~10.19.「第9回 路面電車サミット」(福井)運営参加。実行委員長内田桂嗣会員(NPO法人ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)会長)。</li> <li>▶'08.10.26.「環境、交通、まちづくり市民フォーラム」(東京)にてクルマの外部費用について説明(杉田正明代表)。</li> <li>▶'08.11.TAV(交通死被害者の会)主催シンポジウム「交通死0をめざして」で今井博之会員が講演(京都)。</li> <li>▶'08.11.東京小平「自転車スイスイ」(渡辺進会員代表)で講演会。講師小林成基氏(自転車活用推進研究会事務局)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'08年1年間死者*7,499人。負傷者945,703人。</li> <li>▶'08.6.8.東京秋葉原で25歳男の運転する2tトラックが意図的に暴走、青信号横断中の歩行者5人を撥ね、刃物で人を切りつけた。7人死亡、10人重軽傷(秋葉原通り魔事件)。</li> <li>▶'08.道路交通法改正:自転車通行ルールの整理・明確化。後部座席シートベルト着用義務化。自転車例外的歩道通行用件の明確化。</li> <li>▶'08.ロードバイク使用拡大(女子にも)。</li> <li>▶'08.フランスで道路交通規制改正。車の速度は20km/hの歩行者優先「出会いゾーン」など交通静穏化ゾーンを推進。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'09.4.24.「こども環境学会千葉大会」分科会「安全と子どもの遊びが保障される環境とは?」担当。講師今井博之会員、佐藤清志会員他。</li> <li>▶'09.6.6.大阪豊中市「第10回通学路の安全を考えるシンポジウム」で長谷智喜会員講演。</li> <li>▶'09.9.22.「横浜カーフリーデー」に「道だれ」写真展示参加。クイズラリー出題。</li> <li>▶'09.11.東京小平「自転車スイスイ」(渡辺進会員代表)で講演会。講師疋田智氏。</li> <li>▶'09.11.「世界道路交通犠牲者の日」のイベント(北海道、東京、大阪)に後援、参加。</li> <li>▶'09.11.8「環境・交通・まちづくり市民フォーラム2009」にパネル参加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'09年1年間死者*7,309人。負傷者911,215人。</li> <li>▶'09.6.道路交通法改正:75歳以上に運転免許更新時認知機能検査導入。</li> <li>▶'09.交通規制基準改正:生活道路の最高速度は原則30km/hとなる。</li> <li>▶'09.11.26.国土交通省、自動車のナンバープレートカバーを'10年秋から禁止することを決定するも、実現せず。</li> <li>▶'09.交通基本法制定検討開始。</li> <li>▶'09.~新車のトラック・バス・乗用車の排出NOx・PMの更なる低減のため世界最高水準の厳しい規制「ポスト新長期規制」を制定。</li> <li>▶'09. COP15で産業革命以前からの気温上昇を2度以内に抑えると合意。具体策では先進国と途上国とが対立。</li> <li>▶'09.8.民党政権発足。12年11月まで。</li> <li>▶'09.4.イタリアで世界初の「自転車購入奨励金制度」導入。</li> </ul>

年度	会主催・共催等イベント(総会、講演会、写真展等)	意見書・要望書、執筆等発信活動
<b>2010</b> (H22) 代表／ 杉田正明 事務局／ 清水真哉 後藤昇	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶10.4.24.第16回総会。講演会「日本にまだ道路は必要か～圏央道・八王子での経験から学ぶ」講師橋本良仁氏(高尾の自然を守る市民の会代表)(東京)。</li> <li>▶10.5月～東京月例ミーティング(ほぼ毎月1回開催)。</li> <li>▶10.講演会「高速道路無料化と私たち」講師上岡直見氏(環境自治体会議研究員)と討論会。青山泰人会員が企画(名古屋)。</li> <li>▶11.2.20.学習会「安全性能基準に向けて～交通事故防止技術の現状と課題」講師杉田正明代表(東京)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶10.7.参議院議員選挙にあたり各政党へ公開質問送付。回答を公開。</li> <li>▶10.3月、5月、7月 交通基本法案パブリックコメントに意見送付。</li> <li>▶10.6.「アクセルとブレーキの踏み間違い」について、富田悦哉会員がトヨタ自動車とメールで意見交換、会のホームページなどで公開。</li> <li>▶10.10.第9次交通安全基本計画案パブリックコメントに意見送付。</li> <li>▶11.3.歩車分離信号についてのリーフレット作成。</li> </ul>
<b>2011</b> (H23) 代表／ 杉田正明 事務局／ 清水真哉	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶11.4.23.第17回総会。講演会「歩行者と自転車の道の革命～車道至上主義から道路文化の時代へ」講師津田美知子会員(生活環境デザイン室主宰)(東京)。</li> <li>▶11.5月～東京月例ミーティング(ほぼ毎月1回開催)。</li> <li>▶11.7.17.関西ミーティング。学習会「交通事故防止技術」講師杉田正明代表、交流会(大阪)。</li> <li>▶11.10.29.千葉県船橋市にて「歩車分離式信号、見て考えようの会」。交差点見学会、学習会。朝倉幹晴会員、長谷智喜会員他。</li> <li>▶12.3.会事務所(東京飯田橋、銀鈴会館内生活思想社の一部を借りていた)退去。荷物は杉田正明・久美子夫妻宅などで保管。以降会所在地は代表住所とすることに。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶11.6.自転車通勤者への通勤手当の改善を労働組合定期大会で提起(林裕之会員)(山口)。</li> <li>▶11.9.20.「自動車運転免許取得・更新時の、医学的・技能的・資質的運転適性検査の義務化を求める意見書」を警察庁と内閣府に提出、懇談。</li> <li>▶11.10.9.警察庁にて、交通局交通規制課から分離信号についての説明を受ける。</li> <li>▶11.12.4.「自動車取得税・自動車重量廃止に反対する緊急声明」を内閣府税制調査会、民主党税制調査会へ送付。</li> <li>▶12.1.27.『平成23年10月25日付け通達 良好な自転車交通秩序の実現のための総合対策の推進について』に対する意見書」を警察庁に送付。</li> </ul>
<b>2012</b> (H24) 代表／ 杉田正明 事務局／ 清水真哉	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶12.4.21.第18回総会。講演会「自転車本格活用推進のために 自転車はどこをどう走るか」講師小林成基氏(自転車活用推進研究会理事)(東京)。</li> <li>▶12.5月～東京月例ミーティング(ほぼ毎月1回開催)。</li> <li>▶12.12.8.西日本ミーティング。学習会「病気と車の運転『低血糖と交通事故』」講師飯野研三会員(医師)他(福岡)。</li> <li>▶12.6.30.東京ミーティングで学習会「ドライバーの立場から見たクルマの問題点」講師高橋大一郎会員。</li> <li>▶12.7.28.東京ミーティングで学習会「バス運転士とは？」講師稲見正博会員。</li> <li>▶12.9.東京ミーティングで学習会「2012年国内LRT情報」講師藤村建一郎会員(都電研研究会)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶12.5.1.京都亀岡・祇園等での相次ぐ重大交通犯罪に鑑み、対策要望の「緊急声明」を警察庁他関係省庁、団体、報道機関に送付。</li> <li>▶12.12.1.衆議院議員総選挙にあわせ、クルマ問題と交通に関する政策を問う政党アンケートを各党に送付。回答を公開。</li> <li>▶13.1.18.「交通弱者を守る自動車運転教育についての要望」を全日本指定自動車教習所協会連合会、国家公安委員会、警察庁、内閣府等に送付。</li> <li>▶13.1.28.上記要望について全日本指定自動車教習所協会連合会、内閣府共生社会政策担当交通安全政策担当官と懇談。</li> <li>▶13.2.28.警察庁の「道路交通法改正試案」に対し意見送付。</li> </ul>

「道だれ」写真展とは、「道はだれのもの？東京」写真展の略。 ※1年間死者とは、その年に交通事故が原因で死亡した人の数(厚生統計)。

対外交流、連携活動	クルマ社会や交通関係の主な出来事
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶10.9.23.「横浜カーフリーデー」に参加 雨天のためパネル展示できず。</li> <li>▶10.11.21.「世界道路交通犠牲者の日・北海道フォーラム」。今井博之会員「交通死傷ゼロへの提言」講演。主催北海道交通事故被害者の会(代表前田敏章会員)、当会協力(札幌)。</li> <li>▶10.11.「世界道路交通犠牲者の日」イベントに会員参加(東京、大阪、福岡)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶10年1年間死者*7,222人。負傷者896,297人。</li> <li>▶10.12.東京田園調布の中原街道で蛇行運転の乗用車が歩道に突込み、信号待ちの男児2人死亡、祖父母重傷。危険運転罪で起訴されるも過失致死傷罪で7年の刑。</li> <li>▶10.4.クルマ技術関連：ASV推進計画第5期開始。</li> <li>▶10.クルマ技術関連：フォルクスワーゲン車の自動運転車が米国コロラド州の自動レース完走。</li> <li>▶10.12.クルマ技術関連：日産が三菱自動車に続き電気自動車リーフを販売開始。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶10.「自動車に頼らないまちづくりを考える会」で田中英則会員がつくば市の「つくば自転車マップ」作成。</li> <li>▶11.6.11.「第13回通学路の安全を考えるシンポジウム」で佐藤清志会員講演(大阪豊中市)。</li> <li>▶11.11.20.「世界道路交通犠牲者の日・北海道フォーラム」。津田美知子会員「歩行者と自転車の道の革命」講演。主催北海道交通事故被害者の会(代表前田敏章会員)、当会協力(札幌)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶11年度～「第9次交通安全基本計画」(11～15年度)。年間死者(24時間以内)目標3000人以下、死傷者70万人以下。(結果：15年の死傷者以外未達成)。</li> <li>▶11年1年間死者*6,741人。負傷者854,613人。</li> <li>▶11.3.11.東日本大震災、福島原発事故発生。大津波や火災も発生し、死者は災害関連死を含めて2万人を超え、行方不明者2500人を超える大惨事となる。各地で道路が損壊、三陸鉄道をはじめ東北各地の鉄道が被災し、不通となる。</li> <li>▶11.4.18.栃木鹿沼市でてんかん患者がクレーン車運転中に発作で暴走、集団登校中の児童の列に突込み、小学生6人死亡。免許取得・更新時の持病申告制の甘さなどが問題に。</li> <li>▶11.国による「ゾーン30」整備事業開始。</li> <li>▶11.3.クルマ技術関連：Google社の開発責任者が自動運転車の開発と公道実験実を公表。</li> <li>▶11.8.クルマ技術関連：ITSスポットサービス(ETC2.0)開始。これにより路車間の情報交換が可能に。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶12.11.18.「環境交通まちづくり市民フォーラム」でパネル展示(東京)。</li> <li>▶12.11.18.「世界道路交通犠牲者の日・北海道フォーラム」にて「交通死傷被害ゼロのための刑罰見直しを」シンポジウム。(主催北海道交通事故被害者の会(代表前田敏章会員)、当会協力(札幌)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶12年1年間死者*6,414人。負傷者825,392人。</li> <li>▶12.4.12.京都祇園で軽ワゴン車が暴走、青信号横断中の歩行者に突込み、運転者を含む8人死亡、12人重軽傷。てんかん発作が原因とされる。</li> <li>▶12.4.23.京都亀岡で居眠り・無免許の少年が運転する軽乗用車が登校中の児童と引率保護者の列に突込み、3人死亡、7人重軽傷。無免許運転の刑罰強化などの声が高まる。</li> <li>▶12.4.29.関越自動車道で居眠り運転の高速バスがガードレールなどに激突。乗客7人死亡、乗客乗員39人が重軽傷。</li> <li>▶12.12.2.山梨、中央道笹子トンネルで天井板落下、車複数台の乗員9人死亡、2人負傷。トンネルの老朽化などが問題に。</li> <li>▶12.京都亀岡の事件などをふまえ、警察庁は通学路緊急合同点検開始。</li> <li>▶12.警視庁が道路上に自転車ナビマーク(法定外)設置開始。</li> </ul>

年度	会主催・共催等イベント(総会、講演会、写真展等)	意見書・要望書、執筆等発信活動
<b>2013 (H25)</b> 代表／ 杉田正明 事務局／ 清水真哉	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'13.4.27.第19回総会。講演会「道路を作ると日本はおとろえる」講師服部圭郎氏(明治学院大学教授)(東京)。</li> <li>▶'13.5月～東京月例ミーティング(ほぼ毎月1回開催)。</li> <li>▶'13.8.31.名古屋ミーティング。青山泰人会員運営。</li> <li>▶'13.9.会員の所在地分布地図を会報74号にて公開(富田悦哉会員による)。</li> <li>▶'13.11.30.東京ミーティングで学習会「PM2.5そしてDEP(ディーゼル排気微粒子)」講師杉田正明代表(東京)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'13.6.12.古屋圭司国家公安委員長の交通取り締まりに関する発言に対し、抗議声明送付。</li> <li>▶'13.7.18.参議院議員選挙にあわせクルマ問題と交通に関する政策を問う政党アンケートを各党に送付、回答を公開。</li> <li>▶'13.10.9.2020年東京五輪の開催決定を受け、東京駅を發し臨海副都心へ結ぶLRT(路面電車)を整備する要望書を都知事、中央・江東・港各区長に送付。</li> <li>▶'14.1.23.東京都知事選(2.9投票)にあたり、宇都宮健児、舛添要一等4候補に公開質問状を送付、回答を公開。</li> <li>▶'14.12.衆議院議員選挙にあわせ、アンケートを主要政党に送付。回答を公開。</li> <li>▶'15.3.26.「公共交通機関の税の減免の意見書」を主要政党に送付。</li> </ul>
<b>2014 (H26)</b> 代表／ 杉田正明 事務局／ 清水真哉	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'14.4.26.第20回総会。講演会「交通事故裁判の問題点～取材から見えてきた『危険運転』の現実～」講師柳原三佳氏(ジャーナリスト)(東京)。</li> <li>▶'14.4.27.有志会員がFacebookページ「クルマ社会を問い直す会」を開設。</li> <li>▶'14.5.3.有志ブログ「脱クルマフォーラム」を開設。</li> <li>▶'14.5月～東京月例ミーティング(ほぼ毎月1回開催)。</li> <li>▶'14.11.8.関西ミーティング「みんなで考えよう、クルマ社会」「ちんちん電車に乗って懇親会」(大阪)。</li> </ul>	
<b>2015 (H27)</b> 代表／ 榎原茂典 事務局／ 清水真哉	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'15.4.18.第21回総会。講演会「災害多発・人口減少社会における鉄道の未来」講師堀内重人氏(運輸評論家)(東京)。</li> <li>▶'15.5月～東京月例ミーティング(ほぼ毎月1回開催)。</li> <li>▶'15.8.9.有志ブログ「歩行者の道」を開設。</li> <li>▶'15.9.26.ブログ版「クルマ社会を問い直す会」試行開始。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'15.10～第10次交通安全基本計画中間案に会員有志が意見書送付。</li> <li>▶'15.11.2.要望書2件「最近の重大交通事故を教訓とした緊急要望」「トラック等の自動車による歩行者事故被害を減らす対策強化の要望」を内閣府、警察庁、国交省に送付。</li> <li>▶'15.12.24.要望書上記2要望書について、内閣府交通安全担当官と面談。</li> <li>▶'16.2.28.「横断歩道横断中の歩行者へのアイコンタクト指導についての疑問」意見書を警視庁、主要政党、報道機関に送付。</li> <li>▶'16.3.1.15年11月送付要望書2通について国土交通省と面談。</li> </ul>

「道だれ」写真展とは、「道はだれのもの?東京」写真展の略。 ※1年間死者とは、その年に交通事故が原因で死亡した人の数(厚生統計)。

対外交流、連携活動	クルマ社会や交通関係の主な出来事
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'13.9.22.「横浜カーフリーデー」に「道だれ」写真展示参加。パネル10枚を新作成。</li> <li>▶'13.11.16.「世界道路交通犠牲者の日前夜、キャンドル追悼」式(東京港区立芝公園)佐藤清志世話人運営参加。</li> <li>▶'13.11.17.「世界道路交通犠牲者の日・北海道フォーラム」。小栗幸夫氏(千葉商科大学教授)講演。主催北海道交通事故被害者の会(代表前田敏章会員)、当会協力(札幌)。</li> <li>▶'14.2.28.交通権学会主催「交通政策基本法シンポジウム」にて杉田正明代表が「徒歩・自転車と交通政策」講義(東京・衆議院第2議員会館)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'13年1年間死者*6,060人。負傷者781,492人。</li> <li>▶'13.12.4.「交通政策基本法」施行。まち作りと一体の公共交通ネットワークの維持、地域活性化、国際競争力強化、防災・減災対策、少子高齢化対応の交通の利便性向上などを盛り込む。</li> <li>▶'13.車道に自転車走行位置表示(ナビマーク)方針。</li> <li>▶'13.クルマ技術関連:日産が20年までに複数車種で自動運転技術を搭載と発表。トヨタが自動運転車のデモ走行公開。安倍首相がトヨタ、日産、ホンダの自動運転車に試乗。</li> <li>▶'13.6.クルマ技術関連:世界最先端IT国家創造宣言を閣議決定、自動運転が盛り込まれる。</li> <li>▶'13.10.クルマ技術関連:第20回ITS世界会議を東京で開催。</li> <li>▶'14.3.クルマ技術関連:内閣府主導戦略的イノベーションプログラムで自動走行システムの研究開始(目標:20年までにレベル3の自動運転を達成)。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'14.6.7.大阪豊中市「第16回通学路の安全を考えるシンポジウム」長谷智喜会員参加。</li> <li>▶'14.9.23.「横浜カーフリーデー」にて「道だれ」写真展示参加。「小樽飲酒ひき逃げ事件」の署名活動。</li> <li>▶'14.8.～小樽飲酒ひき逃げ4人死傷事件に危険運転致死傷罪への訴因変更を求める署名(前田敏章代表の北海道交通事故被害者の会等による)に協力。</li> <li>▶'14.11.16.「世界道路交通犠牲者の日・北海道フォーラム」。主催北海道交通事故被害者の会(代表前田敏章会員)、当会協力(札幌)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'14年1年間死者*5,717人。負傷者711,374人。</li> <li>▶'14.7.13.北海道小樽市で多量飲酒、脇見運転の車に歩行中の若い女性4人がひき逃げされ、3人死亡、1人重傷。遺族らの署名で危険運転致死傷罪適用となる。</li> <li>▶'14.5.「自動車の運転により人を死傷させる行為等の処罰に関する法律(自動車運転処罰法)」施行。危険運転致死傷罪と自動車運転過失致死傷罪を刑法から移管し統合。後者の刑を強化し、アルコール発覚免脱罪と無免許運転の加重追加。危険運転致死傷罪の類型追加。</li> <li>▶'14.6.道路交通法改正:運転に支障をきたす疾患の虚偽申告に対する罰則強化。'12年のてんかん持病隠し運転による事件を受けて。</li> <li>▶'14.9.道路交通法改正:環状交差点での交通方法特例新設。</li> <li>▶'14.クルマ技術関連:米国自動車技術会が自動運転のレベル分類を制定(SAE J3016)。</li> <li>▶'14.12.クルマ技術関連:トヨタが燃料電池車「MIRAI」発売。</li> <li>▶'15.3.首都高中央環状線全線開通。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'15.9.22.「横浜カーフリーデー」に「道だれ」写真展示参加。</li> <li>▶'15.10.25.埼玉戸田市「とだ環境フェア」で、高橋大一郎会員が交通問題の展示・クイズ。</li> <li>▶'15.10.高橋大一郎会員と井坂洋士会員が『自転車ルール教本』を企画作製。</li> <li>▶'15.11.15.「世界道路交通犠牲者の日・北海道フォーラム」。テーマ飲酒根絶など。主催北海道交通事故被害者の会(代表前田敏章会員)、当会協力(札幌)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'15年1年間死者*5,646人。負傷者666,023人。</li> <li>▶'15.6.6.北海道砂川市で飲酒運転の車2台が暴走レースをして乗用車に激突、子どもを含む家族4人が死亡、1人重傷。</li> <li>▶'15.10.18.岡山中国自動車道で軽乗用車が落下タイヤに乗り上げ、乗員母娘が路肩避難中、大型トレーラーもタイヤに乗り上げて横転、母娘が死亡。</li> <li>▶'15.6.道路交通法改正:危険な自転車の交通違反について講習受講義務化。</li> <li>▶'15.9.国連サミットでSDGs(持続可能な開発目標)採択。2030年まで。</li> <li>▶'15.11.COP21でパリ協定合意。産業革命前からの気温上昇を2℃未満に抑制目標。日本は30年までに13年比で温室効果ガス26%削減。自動車平均燃費を半減、小型車からのCO<sub>2</sub>を年間2ギガトン削減等の目標。</li> <li>▶'15.ノルウェー・オスロ、都市中心部の車(EV車を含む)規制政策発表。市内中心部の駐車場約700カ所を2018年末までに撤去。</li> </ul>

年度	会主催・共催等イベント(総会、講演会、写真展等)	意見書・要望書、執筆等発信活動
<b>2016 (H28)</b> 代表／ 榑原茂典 事務局／ 富田悦哉	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'16.4.16.第22回総会(東京)。講演会「なぜ止まぬ道路建設 高速と都市計画道路」講師橋本良仁氏(高尾の自然を守る会事務局)(東京)。</li> <li>▶'16.4.17.会のメールアドレスを kuruma@toinaosu.org に更新。</li> <li>▶'16.5月～東京月例ミーティング(隔月に1回開催)。</li> <li>▶'16.5.13.市原刑務所で榑原茂典代表講演「これからのクルマ社会」。</li> <li>▶'16.6.5.ブログ版「クルマ社会を問い直す会」の本格供用開始。</li> <li>▶'16.6.8.会の twitter アカウント開設。 https://twitter.com/kuruma66311273</li> <li>▶'16.6.19.東京ミーティングで学習会「脱化石燃料・脱原発 実現に向けてのいくつかのトピックス」講師杉田正明世話人。</li> <li>▶'16.9.25.京都で会員交流会(奥田純夫会員・青木勝世話人企画)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'16.4.2.意見書「横断歩道横断中の歩行者へのアイコンタクト指導についての疑問」を警察庁に送付。</li> <li>▶'16.7.茨城県龍ヶ崎市「市長への手紙」に木村孝子会員が意見送付、返信受ける。</li> <li>▶'16.11.30.山口県下関市環境基本計画(案)の「都市計画道路の整備推進」に対し、林裕之世話人が意見送付。</li> <li>▶'16.12.21.国土交通省自動車局を訪問、STOPペダルの説明と踏み間違い対策としての必要性を訴える。</li> <li>▶'17.1.24.「高齢ドライバーによる事故についての声明」を関係省庁、報道機関に送付。</li> </ul>
<b>2017 (H29)</b> 代表／ 榑原茂典 事務局／ 富田悦哉	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'17.4.15.第23回総会(東京)。講演会「脱スピードのソフトモビリティ社会を～市民・企業・政府連携によるクルマ社会からの転換」講師小栗幸夫氏(千葉商科大学客員教授)(東京)。</li> <li>▶'17.5月～東京月例ミーティング(隔月に1回開催)。</li> <li>▶'17.9.30.会員アンケート発送。</li> <li>▶'17.11.19.世界道路交通被害者の日・大阪キャンペーン(貸切船にて)(当会と大阪交通遺児を励ます会共催。青木勝世話人担当)。</li> <li>▶'18.3.6.会員アンケート集計。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'18.2.8.山口県下関市の「下関市総合交通戦略(案)」に林裕之会員が意見書を送付。</li> <li>▶'18.3.30.「自動車運転免許の認可基準の強化を求める要望書」および「自動車の速度抑制対策、歩車分離信号の増設を求める要望書」を警察庁等に送付。</li> </ul>
<b>2018 (H30)</b> 代表／ 榑原茂典 事務局／ 富田悦哉	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'18.4.21.第24回総会(東京)。講演会「宇都宮LRT導入の経緯と課題」講師森本章倫氏(早稲田大学教授)。</li> <li>▶'18.5月～東京月例ミーティング(隔月に1回開催)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'18.5.21.3月に送付した2 要望書について警察庁交通企画課警部と面談。</li> <li>▶'18.8.21.同上要望について内閣府共生社会政策担当統括官と面談。</li> <li>▶'18.10.警察庁へ「歩道での自転車の速度制限」についての意見書を清水真哉会員が送付。</li> <li>▶'18.10.警視庁へ「警察官に自転車運転研修を実施してください」の意見書を富田悦哉会員が送付。</li> <li>▶'18.12.警察庁「道路交通法改正試案」についての意見募集に榑原茂典・富田悦哉・足立礼子世話人が意見送付。</li> </ul>

「道だれ」写真展とは、「道はだれのもの?東京」写真展の略。 ※1年間死者とは、その年に交通事故が原因で死亡した人の数(厚生統計)。

対外交流、連携活動	クルマ社会や交通関係の主な出来事
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'16.6.22.横浜カーフリーデー(雨天のため中止)。</li> <li>▶'16.8.29.自転車ルール教習所(高橋大一郎・稲見正博・富田悦哉会員による)で第1回自転車ルール指導者研修会開催。</li> <li>▶'16.11.9.同第2回自転車ルール指導者研修会開催。</li> <li>▶'16.11.6.北海道合同教育研究全道集会の分科会で江見清次郎会員レポート「道路における自転車走行の問題」。</li> <li>▶'16.11.19.世界道路交通被害者の日平和の灯キャンドルイブ(東京タワー前)に佐藤清志世話人運営参加。</li> <li>▶'16.11.20.世界道路交通被害者の日・北海道フォーラム。長谷智喜会員講演。主催北海道交通事故被害者の会(代表前田敏章会員)、当会協力(札幌)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'16年度～「第10次交通安全基本計画」(16～20年度)。年間死者(24時間以内)目標2500人以下、死傷者50万人以下。(結果:19年まで未達成)。</li> <li>▶'16年1年間死者*5,278人。負傷者618,853人。</li> <li>▶'16.1.9.群馬前橋市で85歳男の運転する乗用車が対向車線へはみ出し、登校中の女子高校生2人(自転車)に衝突、1人死亡、1人意識不明の重体。</li> <li>▶'16.1.15.長野軽井沢で大型観光バスがガードレールを倒して道路脇に転落。乗客(大学生が大半)・乗員41人中15人死亡、26人負傷。運転者は大型バスの運転に不慣れで、バス業界の人手不足、安全管理が問題に。</li> <li>▶'16.10.26.スマホでポケモンGOをしながら運転する男のトラックが、横断歩道横断中の小学生の列に突込み、小学4年男児が撥ねられて死亡。ながら運転による事件は多発しており、遺族が刑罰強化を訴える。</li> <li>▶'16.4.ナンバープレートカバーの装着禁止発令。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'17.9.23.横浜カーフリーデーに「道だれ」写真展示参加。</li> <li>▶'17.11.18.世界道路交通被害者の日平和の灯キャンドルイブ(東京タワー前)(小栗幸夫会員、佐藤清志世話人他主催)。</li> <li>▶'17.11.19.世界道路交通被害者の日・北海道フォーラム。足立礼子会員参加。主催北海道交通事故被害者の会(代表前田敏章会員)、当会協力(札幌)。</li> <li>▶'18.2.15.東京高尾・商業施設周辺の交通問題について市民団体から相談を受けて視察(榑原茂典・長谷智喜・清水真哉各会員)。長谷会員が継続して対策に関与。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'17年1年間死者*5,004人。負傷者580,850人。</li> <li>▶'17.6.5.神奈川、東名高速道であおり運転を受けて追い越し車線に停止した乗用車にトラックが追突し、乗用車の父母2人が死亡、子ども3人が負傷。あおり運転の厳罰化の声が広がる。</li> <li>▶'17.12.7.神奈川川崎市で女子大生がスマホ操作しながら電動自転車に乗って歩行者と衝突、歩行者死亡。自転車の「ながら運転」事故が問題に。</li> <li>▶'17.道路交通法改正:75歳以上は違法行為の場合臨時認知症検査を義務化。準中型免許新設(車両3.5～7.5t未滿)。</li> <li>▶自治体条例による自転車賠償責任保険加入義務化の動き拡大。自転車活用推進法施行。</li> <li>▶'18.3.JR九州が在来線111本、新幹線6本計117本の運行を削減。</li> <li>▶'18.3.クルマ技術関連:内閣府主導戦略的イノベーションプログラムで自動運転システムとサービスの拡張研究開始。</li> <li>▶'18.3.クルマ技術関連:Uber社の自動運転車が米国で公道実験中に初の人身事故。アウディ社、テスラ社で自動運転を目指したモデルを発表。</li> <li>▶'18.EUは40年度までにガソリン自動車全廃目標発表。</li> <li>▶'17.フィンランドでMaas(モビリティ・アズ・ア・サービス)初導入。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'18.6.2.大阪豊中市「通学路の安全を考えるシンポジウム」に長谷智喜会員シンポジスト参加。</li> <li>▶'18.7.15.東京八王子「高尾・浅川地域のまちづくりを考える会」で長谷智喜会員講義。</li> <li>▶'18.9.23.「横浜カーフリーデー」(15周年)に「道だれ」写真展示参加。</li> <li>▶'18.11.17.世界道路交通被害者の日・北海道フォーラム。主催北海道交通事故被害者の会(代表前田敏章会員)、当会協力(札幌)。</li> <li>▶'18.11.17.世界道路交通被害者の日・平和の灯キャンドルイブ(小栗幸夫会員、佐藤清志世話人、長谷智喜会員他主催。当会賛同団体)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'18年1年間死者*4,595人。負傷者525,846人。</li> <li>▶'18.電動アシスト自転車発売25年(年60万台市場に)。</li> <li>▶'18.6～7月西日本中心集中豪雨で各地道路、鉄道など被災。9月には台風21号により関西国際空港が冠水被害。</li> <li>▶'18.COP24にてパリ協定の実施指針採択。先進国と途上国が共通ルールで温暖化ガスの削減に取り組む。10代の環境活動家グレタ・トゥーンベリさんの演説が話題に。</li> <li>▶'18.4.クルマ技術関連:国が「自動運転に係わる制度整備大綱」を発表。</li> <li>▶'19.1.クルマ技術関連:経産省がトラック隊列走行(後続車無人)の実証実験を実施。</li> </ul>

年度	会主催・共催等イベント(総会、講演会、写真展等)	意見書・要望書、執筆等発信活動
<b>2019</b> (R1) 代表／ 青木勝 足立礼子 事務局／ 安彦守人	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'19.4.20.第25回総会。会員討論会。</li> <li>▶'19.5月～東京月例ミーティング(隔月に1回開催)。</li> <li>▶'19.11.17.世界道路交通被害者の日キャンペーン(大阪)を「大阪交通遺児を励ます会」と共催。青木勝代表企画実施。会員3名参加。</li> <li>▶'19.11.17.大阪ミーティング。8名参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'19.4.21.「池袋での自動車暴走事件に関し、実効ある予防策を求める声明」を警察庁、国土交通省、報道機関等に送付。</li> <li>▶'19.6.5.多発する交通事故に関し、しんぶん赤旗記者の取材を受ける(記事にはならず)。</li> <li>▶'19.6.15.7月の参議院議員選挙にあたり、各政党へ公開質問状を送付、回答を公開。</li> <li>▶'2019.9.東京八王子・東浅川交差点の歩車分離信号化要望署名(「高尾・浅川地域のまちづくりを考える会」による)の共同呼びかけ団体となり、会員に署名協力要請。</li> </ul>
<b>2020</b> (R2) 代表／ 青木勝 足立礼子 事務局／ 安彦守人	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'20.3.28.新型コロナウイルス流行のため、第26回総会の通常形態の開催中止決定。予定していた講演会(青野渉弁護士)も中止決定。総会は通信制で開催することとし、準備開始。</li> <li>▶'20.4.7.第26回通信制総会の議事と採決票を会員に発送。4月20日消印締め切りとした。</li> <li>▶'20.4.30.第26回通信制総会決議。総会成立。世話人はオンライン会議で実施。</li> <li>▶'20.6.6.東京ミーティングをオンライン会議により開催。</li> <li>▶'20.5.31.『クルマ社会を問い直す』第100号発行</li> <li>▶'20.7.5.名古屋ミーティング。青山泰人会員世話役。7名参加。</li> </ul> <p>(以上'20.7月末時点)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'20.4.26.「コロナ禍交通崩壊を防ぐ緊急アピール」(全国路面電車ネットワーク、NPO法人公共交通のラクダによる)の賛同団体となる。</li> <li>▶'20.5.5.「新型コロナウイルスの緊急事態に際し、公共交通機関の財政支援を求める意見書」を国土交通省、政党、報道機関に送付(林裕之世話人作成)。</li> <li>▶'20.5.14.「『コロナ自粛下での違法運転と交通事故増加を防ぐ緊急対策』を求める要望」(原案は菊池和美会員作成)を警察庁、内閣府、報道機関に送付。</li> <li>▶'20.5.24.会案内リーフレット改訂版作成、配布。</li> </ul> <p>(以上'20.7月末時点)</p>

「道だれ」写真展とは、「道はだれのもの?東京」写真展の略。

対外交流、連携活動	クルマ社会や交通関係の主な出来事
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'19.9.22.「横浜カーフリーデー」に「道だれ」写真展示参加。この年をもって横浜カーフリーデー実行委員会は解散となる。</li> <li>▶'19.11.16.「世界道路交通被害者の日」にちなむキャンドル追悼会に参加。主催者側実行委員として会員の小栗幸夫、佐藤清志、長谷智喜参加、当会は賛同団体。</li> <li>▶'19.11.16.「世界道路交通被害者の日・北海道フォーラム2019」。主催北海道交通事故被害者の会(代表前田敏章会員)、当会協力(札幌)。</li> </ul> <p>(以上'20.7月末時点)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶'19年死者(事故後30日以内)3,920人。負傷者460,715人。</li> <li>▶'19.4.19.東京池袋で87歳男性運転の乗用車が暴走、横断歩道を自転車で横断中の母娘をはねて死亡させる。アクセルとブレーキの踏み間違いとされる。</li> <li>▶'19.5.8.滋賀大津の交差点で右折車と直進車が衝突、直進車が歩道で信号待ちの保育園児と保育士の集団に突込み、園児2人死亡、保育士を含む14人が重軽傷。</li> <li>▶'19.10.12～東日本を中心に大型台風、91人死亡。道路、鉄道も多く被災。長野新幹線は車両120両が冠水。10月25日は千葉や福島が記録的豪雨で被災。</li> <li>▶'19.12.道路交通法改正：スマホ見ながらなどの「ながら運転」の刑罰強化。</li> <li>▶'19.6.クルマ技術関連：国交省が「限定地域での無人運転移動サービス」のガイドライン発表。</li> <li>▶'20.1.クルマ技術関連：トヨタがネットを介してつながる都市「オープン・シティ」構想発表。</li> <li>▶'19.フランスでモビリティ法(LOM)可決。ノルウェー・オスロ「欧州グリーン首都賞」受賞。同年オスロ市内の交通事故死者は1人だった。</li> <li>▶'20.1～新型コロナウイルスが全世界的に感染拡大し、3～4月にかけて日本を含む各国で外出自粛措置がとられる。公共交通事業者は利用者減により財政悪化。7月末時点でも感染拡大中。</li> <li>▶'20.7.3.～九州や中部地方など各地で集中豪雨発生、熊本の球磨川など各地で河川が決壊氾濫、死者78人。各地の鉄道も被災し、不通に。</li> <li>▶'20.6.道路交通法改正：あおり運転を妨害運転と定義し厳罰化。17年の東名高速道でのあおり運転死傷事故などを受けて。</li> <li>▶'20.7.自動車運転処罰法改正：あおり運転による通行妨害を危険運転罪とみなす。ドライブレコーダーの設置が増加中。</li> </ul> <p>(以上'20.7月末時点)</p>